

## 令和4年度第5回定例（拡大）理事会議事録

日時：令和5年1月22日（日）（午前の部） 9：30～12：56

（午後の部） 14：00～15：28

場所：奈良学園大学 登美ヶ丘キャンパス 1号館 4階 1402 教室

次の理事・監事・部長・委員長はWEB会議システム（インターネット回線を使用した音声と映像を即時に出席者へ伝達するシステム：ZOOM）により、次の場所にて参加した。

（自宅）北村哲郎、中村貴信、堀義範、江村修二、箕輪希予志、吉田陽亮、中川勝利、細川彰子、中村洋貴、浦上貴仁、高島正治、田中満勝、中村潤二、岩佐精志、徳田光紀、久野剛志、岩田健二、山田哲也、西山章太、梅本康明、榮崎彰秀、井上裕水、和田祥武、福本貴彦、嶋田陽太、堀田修秀、尾崎文彦、和合弘貴、村上康朗、後藤総介

議長：増田崇

出席者：理事9名（定足数5名） 監事2名 部長・委員長26名 書記1名 計38名

【理事】増田崇、西田宗幹、田平一行、松村明子、和田善行、北村哲郎、中村貴信、堀義範、河村隆史

【監事】江村修二、箕輪希予志

【部長・委員長】廣池裕美、吉田陽亮、中川勝利、細川彰子、中村洋貴、浦上貴仁、高島正治、田中満勝、中村潤二、岩佐精志、徳田光紀、久野剛志、岩田健二、山田哲也、西山章太、梅本康明、榮崎彰秀、井上裕水、和田祥武、福本貴彦、嶋田陽太、堀田修秀、尾崎文彦、和合弘貴、村上康朗、後藤総介

【書記】四方絵里華

議事録署名人：増田崇、江村修二、箕輪希予志

欠席理事：なし

欠席監事：なし

- 議事：1. 各局・各部・委員会令和4年度事業報告  
2. 令和4年度決算報告（現状）  
3. 各局・各部・委員会令和5年度事業計画案  
4. 令和5年度予算案報告・審議  
5. 特定費用準備資金の目的外取り崩しについて  
6. 会長行動報告  
7. 会員異動承認  
8. 総会日程・議案について  
9. その他（理事会日程など）

## 承認事項

1. 奈良マラソン第6救護所指導責任者への講師料支払いについて
2. 第32回学会 参加費とアンケート回答者への謝礼について
3. 電子選挙 (i-Vote) の導入について
4. 特定費用準備資金の目的外取り崩しについて
5. 会長行動報告
6. 会員異動承認
7. 総会日程・議案について

(午前の部)

1. 各局・部・委員会 令和4年度事業報告

<事務局 (和田事務局長) >

- 1) 総務部 (廣池部長)

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。

- 2) 会員管理部 (吉田部長)

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。

- 3) 財務部 (中川部長)

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。

- 4) 福利厚生部 (細川部長)

報告 今年度もコロナのため、全事業中止。

<社会局 (西田社会局長) >

- 5) 医療保険部 (中村洋貴部長)

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。医療保険に関する問い合わせが1件あったが回答済。

- 6) 介護保険部 (浦上部長)

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。

- 7) 社会福祉部 (高島部長)

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。

- 8) 理学療法啓発部 (田中部長)

報告 理学療法フェスタは中止となったが、新聞折り込みチラシを6万部程度配布。川柳は例年通り実施。

<学術局長 (田平学術局長) >

- 9) 生涯学習部 (中村潤二部長)

報告 今年度より新生涯学習制度に変更となった。新制度に関する問い合わせはなし。新プロに代わる前期研修を2回実施したが、参加者が少ないので広報方法を検討していく。

1 0) 研修部 (岩佐部長)

報告 31回学会サポートを実施。例年と同様の研修会を実施した。他府県会員の参加も多かった。

1 1) 学術誌部 (徳田部長)

報告 奈良理学療法学に1編投稿があり、掲載予定である。電子化版となったが閲覧回数は少ない。

<広報局 (松村広報局長) >

1 2) 会誌部 (代理: 松村理事)

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。個別に記事依頼した会員には、会誌を郵送した。

1 3) ホームページ管理部 (久野部長)

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。HPシステム変更を行い、現在も微修正を行っている。求人広告が休止中であるが、問い合わせもあるため再開していく。

<各委員会>

1 4) 第31回奈良県理学療法士学会準備委員会 (高島学会長)

報告 開催概要が報告された。全体参加人数が非常に多かったが、県外会員が大半。参加人数が多い要因としては、安価であったことや前期研修のポイント履修が可能であったことが挙げられる。

1 5) 第32回奈良県理学療法士学会準備委員会 (岩田学会長、山田準備委員長)

報告 開催概要が報告され、テーマが決定し講師依頼も行っている。HPも開設し、演題募集も開始した。

1 6) 表彰審査委員会 (西山委員長)

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。各種表彰に対応。学会表彰に関しては学会準備委員へ引き継ぎとなる。

1 7) 新人研修委員会 (梅本委員長)

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。今年度は、経験年数が長い会員の申し込みが多い。

1 8) 専門領域委員会 (榮崎委員長)

報告 コロナの影響もあり、可能な範囲で勉強会の活動を行った。健康増進に関する委員会は来年度より糖尿病対策委員会へ移行。新生涯学習部制度の変更に伴い、

今年度は士会主催症例検討会を2回開催したが滞りなく行えた。来年度も継続して行う予定である。

19) ブロック活動推進委員会（井上委員長）

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。前後期研修のポイント履修が可能となっている。

20) 選挙管理委員会（代理：増田会長）

報告 来年度は役員改選のため、準備していく予定。今年度中に立候補者の受付予定。

21) スポーツメディカルサポート委員会（福本委員長、嶋田会員）

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。日理協会議に嶋田会員が代理出席。今後は業務の一部を引き継いで行く予定で来年度より副委員長となる。2月に飛鳥ハーフマラソンに参加。奈良マラソンが再開となった。今年度より各救護所に配置される救護部員には実行委員会より1万円の活動費が支給されることとなった。第6救護所は当会のテントで、当会規程の活動費となり大幅に違う。可能なら第6救護所の指導責任者（1名）に同額を支給してもらいたい。

承認 審議の結果、奈良マラソン本部からの活動費と同額（差額分のみ）の支払いについて、理事全員に承認された。名目は講師料で、源泉徴収を行う。奈良マラソン本部の金額変更があれば、随時合わせる。

22) 地域包括ケアシステム推進委員会（堀田委員長）

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。2月にフォローアップ研修、多職種研修会を実施予定。

23) 政策委員会（尾崎委員長）

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。

24) 学校保健・特別支援担当委員会（福本委員長）

報告 コロナで大半が中止となったが、田原本町・斑鳩町内のスポーツテストのみ再開となった。スポーツと学校保健事業の境界線が難しいが、相互委員で協力し人材確保していく。

25) 災害対策委員会（和合委員長）

報告 対面研修は中止となり、オンラインで開催した。JIMTEF研修は受講者なしとなった。JRATは奈良県との協定締結が来年度に検討されている。

26) 管理者ネットワーク推進委員会（西田理事）

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。

27) 臨床実習指導者講習委員会（後藤委員長）

報告 計画通り事業内容の追加・変更なく、遂行されていることが報告された。オンライン開催となり参加者の急遽欠席が多いため定員より多めに募集している。養成校より各院所へ講習会の広報は行っている。

## 28) 糖尿病対策委員会 (村上委員長)

報告 今年度より事業開始。主な事業は糖尿病デーの参加。コロナの影響でオンライン参加となり、動画作成を行った。その他、学術大会での発表へ情報交換会の参加や事業への講師派遣を実施。

## 29) 循環器病対策委員会 (後藤委員長)

報告 奈良県のパブリックコメントを作成・提出した。奈良県循環器病対策推進計画に2期より参加予定。

## 2. 令和4年度決算報告 (現状)

報告 増田会長・中川財務部長より令和4年度決算報告に関して、説明がなされた。現時点で公益事業の消耗品が予算と比較し余剰となっている。見通しとしては、黒字になる可能性もある。公益事業会計は収支相償を満たす必要があるため、公益事業の部・委員会は予算通りの使用を心掛ける。

## 3. 各局・各部・委員会 令和5年度事業計画案

### <事務局 (和田事務局長)>

#### 1) 総務部 (廣池部長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。事務所移転に伴い定款変更を行うため、総会出席・委任状が2/3以上必要となる。

#### 2) 会員管理部 (吉田部長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。

#### 3) 財務部 (中川部長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。

#### 4) 福利厚生部 (細川部長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。事業開催予定ではあるが、感染状況により行えない可能性もある。

#### 5) 事務局 (増田会長、和田理事)

報告 シニア会員制度について説明がなされた。

報告 当会における今後の方向性について増田会長より説明がなされた。今後は部員・委員への報酬支払いを予定しており、そのための収入が必要。次年度は対面開催を増やし、各部・委員会で参加費設定について再検討してほしい。和田理事より、参加費設定について説明がなされた。現在WEB開催が中心となり、対面開催はほぼなくなっている。ポイント付与ありの講習会の参加費は、WEB参加より対面参加を安価にするなど検討している。今後、規定作成してい

く予定。

- 意見
- ・研修会時間による金額も検討してほしい。(後藤委員長)
  - ・「参加費」という名称であれば、対面のほうが安価なのは会員としては腑に落ちないのではないか。名称の検討もお願いしたい。(尾崎委員長)
  - ・オンラインも残しておいてほしい(和田祥武委員長)。  
→ハイブリッド形式は今後も継続予定。(増田会長)
  - ・今後の参加費無料はなくなるか。(井上委員長)  
→基本的には参加費設定する方向で統一。

<社会局(西田社会局長)>

6) 医療保険部(中村洋貴部長)

報告 例年通りの事業計画案の説明がなされた。再来年度は同時改定のため動向に注意し、介護保険部とも連携していく。

7) 介護保険部(浦上部長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。医療保険部と情報交換も行っていく。

8) 社会福祉部(高島部長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。

9) 理学療法啓発部(田中部長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。理学療法フェスタは開催予定である。規模を従来通りとするかを委員内で検討中。5類への引き下げが検討されているが、感染対策は引き続き行っていく(サージカルマスク+フェイスシールド、アクリル板、消毒、検温など)。小児での感染が拡大しているため、例年行っている小児ブースは中止予定。公開講座は人数制限を設け、会場の既定人数などを参考に決定する。参加者にはマスク着用してもらう。

提言 理事より以下の意見が挙げられた。

感染対策をしっかりと行えば、開催は問題ない。感染対策物品を購入し、対策を取ったことを示せるように準備する。感染状況を鑑みて、N95マスクの着用なども検討していく。

<学術局(田平学術局長)>

10) 生涯学習部(中村潤二部長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。前期研修を2回予定。来年度より部長が後藤悠太会員(西大和リハビリテーション病院)に交代となるが、部員としては残る。副部長は西前会員。

11) 研修部(岩佐部長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。

## 1 2) 学術誌部 (徳田部長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。田平理事より投稿が少ないことに対し、学会の特別講演講師や優秀演題の会員などへの投稿依頼なども検討するよう提言あり。

## <広報局 (松村広報局長) >

### 1 3) 会誌部 (代理: 松村理事)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。

### 1 4) ホームページ管理部 (久野部長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。システム修正・スマホ用 HP の編集は現在も行っており、今年度中に終了するかもしれない。来年度はカルーセルの任意変更や生涯学習や学術誌関連の新規ページ作成などを予定している。会員照合について質疑あり。現在は、会員管理部で照合を行っている状況。会員照合システムについては今後修正・変更していく。

提案 尾崎会員より、広報局全体として SNS 活用してはどうかと意見があがった。部内でも検討中とのこと。お知らせメールは継続していく。

## <各委員会>

### 1 5) 第 3 2 回奈良県理学療法士学会準備委員会 (岩田学会長)

報告 第 3 2 回奈良県理学療法士学会に関して概要説明がされた。順次、打ち合わせを開始している。以下 3 点については、検討がなされた。

#### ① 参加費について

参加費について、ポイント付与の有無で設定したい。委員内では 5 年目未満の研修理学療法士・オンデマンド配信のみ 500 円、一般会員 (ポイント付与がある会員) 1000 円、非会員 6000 円、学生無料で検討中。

#### ② 学会アンケート回答者への謝礼について

学会アンケートを実施予定だが、回収率が低いことが懸念される。アンケート回答者への謝礼として 500 円の QUO カードを 10 名程度にお渡ししたい。

#### ③ 座長に対する講師料支払いについて

今まではなかったが可能であれば講師料支払いを検討している。審議の結果、講師料支払いはしない方向となった。座長の選定が難渋した場合は、理事に相談する。

承認 審議の結果、上記の参加費設定とすること、また、アンケート回答者への謝礼についても理事全員に承認された。アンケートについての詳細は今後検討する。

- 1 6) 第 3 3 回奈良県理学療法士学会準備委員会 (代理: 田平副会長)  
報告 第 3 3 回奈良県理学療法士学会に関して概要説明がされた。今後、準備委員を選出していく。
- 1 7) 表彰審査委員会 (西山委員長)  
報告 例年通りの事業計画案が説明された。会員管理システム変更に伴い、役員歴など一部不明な点がある。事務員にも確認する。
- 1 8) 新人研修委員会 (梅本委員長)  
報告 例年通りの事業計画案が説明された。対面開催を開始したい。
- 1 9) 専門領域委員会 (榮崎委員長)  
報告 例年通りの事業計画案が説明された。勉強会を士会主催で開催。可能であれば対面で実施予定。対面開催における規程検討について質疑あり。基本的な感染対策を講じつつ、状況により都度理事会で検討する。
- 2 0) ブロック活動推進委員会 (井上委員長)  
報告 例年通りの事業計画案が説明された。また、ブロック別の取り組みについて説明がなされた。症例検討会以外にブロック別講習会の開催などを検討している。ブロック分けについても再検討していく。
- 2 1) 選挙管理委員会 (和田祥武委員長)  
報告 例年通りの事業計画案が説明された。来年度改選となる。電子選挙 (i-Vote) について説明がなされた。従来の費用は 4.3 万円程度で、電子選挙では無投票当選で 4.9 万円、選挙となれば 19 万円程度。無投票当選であれば、大幅な増額はなし。今まで行っていた書面での案内 (郵送) はせず、WEB で完結し作業負担は減る。選挙規定は変更する必要がある、2 月理事会で検討する。会員への広報はお知らせメールにて実施。  
承認 審議の結果、電子選挙 (i-Vote) の導入が理事全員に承認された。予算は選挙ありで計上するが、財務部と調整する。来年度選挙で導入可能であれば使用予定。
- 2 2) スポーツメディカルサポート委員会 (福本委員長)  
報告 例年通りの事業計画案が説明された。
- 2 3) 地域包括ケアシステム推進委員会 (堀田委員長)  
報告 例年通りの事業計画案が説明された。多職種研修は推進リーダーフォローアップ研修会に組み込んでいく。
- 2 4) 政策委員会 (尾崎委員長)  
報告 例年通りの事業計画案が説明された。
- 2 5) 学校保健・特別支援担当委員会 (福本委員長)  
報告 例年通りの事業計画案が説明された。教育委員会と調整していく。予定外の事業も多いが、可能な限り対応していく。和田事務局長より、予定外事業に関し



ては理事会に報告すれば予算計上していくと提言あり。

26) 災害対策委員会 (和合委員長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。

27) 管理者ネットワーク推進委員会 (西田委員長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。管理者間連携強化のため、部・委員会と協力し情報交換していく。

28) 臨床実習指導者講習委員会 (後藤委員長)

報告 例年通りの事業計画案が説明された。

29) 糖尿病対策委員会 (村上委員長)

報告 なら糖尿病デー、学会、情報交換会などの参加を予定。奈良県内での勉強会を開催し、啓発活動も行っていく。

30) 循環器病対策委員会 (後藤委員長)

報告 循環器病対策推進計画第2期に参画予定。糖尿病対策委員会と同様に、啓発活動も行っていく。

4. 令和5年度予算案報告・審議

報告 中川財務部長より令和5年度収支予算案・一般会計予算案について説明がなされた。予算計上に関して、コロナの影響で対面研修が行えない場合についての余剰分について質疑あり。公益事業の部・委員会は、可能な限り予算通りの支出を心掛けてもらいたい、感染状況にもよるので都度理事会・財務部と調整する。

5. 特定費用準備資金の目的外取り崩しについて (増田会長・和田理事)

報告 増田会長・和田理事より、事務所移転に関する概要説明と予算について説明がなされた。予算については特定費用準備資金の目的外取り崩しを行う予定である。

承認 審議の結果、事務所移転に伴い特定費用準備資金の目的外取り崩しを行うことが、理事全員に承認された。取り崩し資金は事務所移転費用・事務物品・引越費に充当する。残りの資金は、設立50周年記念式典(2024年度)にむけて特定費用準備資金として積み立ていく。

(午後の部)

6. 会長行動報告

- 12 / 4     リスク管理コース 講師
- / 14     斎藤協会長と懇談
- 1 / 8     地域リハコース 講師
- / 10     調整会議
- / 13     財務部会議
- / 21     3団体役員会
- / 22     第5回拡大理事会

**承認** 以上の会長行動について増田会長より報告がなされ、理事全員に承認された。

**承認** 業務執行理事行動報告（西田副会長、田平副会長）

業務執行理事から業務の報告がなされ、理事全員に承認された。

#### 7. 会員異動承認

**承認** 令和4年10月20日から令和5年1月21日までの会員異動が、理事全員に承認された。

#### 8. 総会日程・議案について（増田会長、和田事務局長）

**承認** 第30回定期総会の日程・議案について軽微な文言修正を含めた上で以下の通り、理事全員に承認された。

（日程） 令和5年6月17日（土） 受付：14時30分

開始：15時00分

（会場） 新事務所、橿原市商工経済会館貸しホールなど（総務部で検討）

（議案） 第1号議案 定款変更に関する件

第2号議案 令和4年度事業・決算及び監査報告の承認に関する件

第3号議案 令和5年度事業計画・予算案の報告に関する件

第4号議案 令和5年度・令和6年度理事及び監事の選任に関する件

第5号議案 選挙管理委員選出に関する件

**報告** 定款変更の際し、総会出席・委任状数が2/3以上必要となるため、各院所で声掛けしていく。今後、代議員制も必要であれば検討していく。

#### 9. その他

##### 1) 令和5年度理事会日程（和田理事）

**報告** 令和5年度の理事会・役員会日程の報告がなされた。4月理事会に総務部（書記）が出席できないため、和田事務局が代理で行う予定。

2) 理事定数について (増田会長)

報告 会員数・役員業務が増加しており、理事定数上限の増員について意見が挙げられた。担当理事を事務局1～2名、社会局1名、学術局1名程度の割合で増員希望あり。両監事より、会員サービスの向上や質の担保に寄与できるのであれば増員の方向で良いのでは、と意見が挙げられた。2月理事会で再度検討する。

3) J-motto 回覧確認 (増田会長)

報告 各理事・部・委員会で対応する。

4) 新事務所改修について (増田会長、和田理事)

報告 改修図面や工期について説明がなされた。事務所移転後、理事・役員会は対面開催予定だが、ハイブリッド形式は継続する。

5) 倫理担当者会議について (河村理事)

報告 近畿ブロック倫理担当者会議が2月5日に開催されるが、北村理事が欠席のため河村理事が出席予定である。

以上